

平成20年度
(第43期)

事業報告書
決算書

自 平成20年 1月 1日
至 平成20年12月31日

財団法人 国立京都国際会館

平成20年度 事業報告書

1. 事業概要

平成20年度に国立京都国際会館（以下「会館」と言う。）で開催されました国際会議は41件、同じく国内会議等は243件で、合計284件となっております。

主な国際会議としましては、6月に開催されましたG8京都外相会合における国際メディアセンター及び共同記者会見（6月 300名）をはじめ、京都国際デザイン会議クムルス2008 [芸術・デザイン系大学コンソーシアム組織の会合]（3月 600名）、第25回国際めまい平衡医学会（3月 630名）、国際競争ネットワーク第7回年次総会（4月 500名）、ICTと気候変動に関するITU京都シンポジウム（4月 200名）、国際シンポジウム「iPS細胞研究が切り拓く未来」（5月 1,700名）、第5回アトピー性皮膚炎国際シンポジウム（5月 200名）、第5回国際研究皮膚科学会議（5月 1,994名）、国際金属労連（IMF）財政委員会・執行委員会（5月 90名）、第11回ASEAN+3局長級会合（5月 60名）、第1回プロセス化学国際シンポジウム（7月 900名）、第9回国際マンガサミット京都大会（9月 30,000名）、第20回国際反応工学シンポジウム（9月 350名）、CULTURAMA上映会 [エジプトの歴史・文化を紹介するパノラマ映像]（10月 400名）、第7回ナノインプリント・ナノプリント技術国際会議（10月 300名）、天皇皇后両陛下のご臨席のもと開催されました源氏物語千年紀記念式典（11月 3,000名）、第8回溶接学会国際シンポジウム（11月 722名）のほか、恒例の京都賞授賞式（11月 3,920名）や、当会館での開催が定着し、今回は皇太子殿下のご臨席を賜りました科学技術と人類の未来に関する国際フォーラム（STSフォーラム）第5回年次会合（10月 700名）などがあります。

一方、主な国内会議等としましては、第11回日本病態栄養学会年次学術集会（1月 3,500名）、第23回日本静脈経腸栄養学会（2月 5,500名）、Stroke 2008 [日本脳卒中学会総会・日本脳卒中の外科学会・スパズムシンポジウム]（3月 3,020名）、第81回日本細菌学会学術集会（3月 1,000名）、第21回全国経済同友会セミナー（4月 1,377名）、第107回日本皮膚科学会総会（4月 4,289名）、国際ロータリー第2650地区大会（4月 2,500名）、第57回社団法人全日本鍼灸学会学術大会（5月 2,000名）、第7回産学官連携推進会議（6月 4,000名）、第18回関西高校模擬国連大会（6月 173名）、ファッションカンタータ from KYOTO（6月 6,000名）、ダニエル・コビアルカ ワンワールド ヒーリングコンサート（6月 1,736名）、第10回地域教育フォーラム・イン京都（8月 4,000名）、第62回全国商工会議所専務理事・事務局長会議（8月 500名）、平成20年度福祉職場フェア（9月 900名）、第70回日本血液学会総会（10月 4,000名）、第23回日本整形外科基礎学術集会（10月 2,500名）、2009ミス・インターナショナル日本代表選出大会&2009ミス・ワールド日本代表選出大会（10月 1,400名）、日本臨床麻酔学会第28回大会（11月 2,000名）、第8回日本心血管カテーテル治療学会学術集会（11月 2,500名）、第47回日本網膜硝子体学会総会・第25回日本眼循環学会合同大会（11月 1,800名）、第38回日本免疫学会総会・学術集会（12月 3,000名）、ATAC [電子情報支援技術とコミュニケーション支援技術会議] 2008（12月 900名）のほか、恒例の日本青年会議所2008年度京都会議（1月 9,000名）、第46回関西財界セミナー（2月 794名）などがあります。

2. 収支状況

収入の部では、平成19年度に比べますと、会議開催件数は増加したものの、大規模な会議等の減少により、使用料収入が12億5,535万円にとどまり、これに、その他の収入1,421万円を加えますと、総収入は12億6,956万円となり、前年度より2億1,632万円の減少（対前年比▲14.6%）となっております。

一方、支出の部では、前年度に比べ、人員構成の若返り等により人件費が若干減少したことで、委託費は昨年並みに止まるものの、運営費や管理費が相当額減少したことにより、総支出額は前年度と比較して、1億7,365万円減少（対前年比▲12.1%）の、12億6,614万円となっております。

この結果、収支差額は342万円となり、当事業年度計画時の収支均衡予算を、僅かではありますが上回り、平成12年度以降9期連続の黒字決算となっております。

3. 施設整備等

本館建築物は、建築後40年以上経過していることから、建物本体や設備機器等で老朽化が進んでいるため、既に国の予算等で順次改修工事を行ってきておりますが、今年度につきましては、平成19年度の国の補正予算で、M棟およびG棟一部の耐震改修工事が実施され、今年の3月に完工する予定です。また、多目的ホールの建設および今後の耐震改修工事につきましては、今後とも国に対して、要望を続けてまいります。

なお、今年度完工の主な工事は下記のとおりであります。

- ① M棟、G棟1～3階一部耐震改修工事
- ② カクテルラウンジ外部出入口自動扉設置工事
- ③ イベントホール照明設備改修工事
- ④ イベントホール受変電設備改修工事

4. 平成21年度の収支見通し

収入の部では、平成20年度に比べ大型会議の件数が増加し、一定の増収が見込まれます。一方支出の部では、運営費や管理費の増加が見込まれますが、引き続き事務の合理化、経営の効率化により経費節減を図り、公益法人としての健全経営に努めてまいりたいと考えております。

一 業 務

1. 会場の使用状況

ア. 国際会議の実績

区 分	平成20年度	平成19年度	前 年 比
開 催 件 数	41件	43件	△ 2件
参 加 人 員	52,014人	37,724人	14,290人
使 用 料 収 入	319,652千円	515,989千円	△ 196,337千円
1 件あたり参加人員	1,269人	877人	392人
1 件あたり使用料収入	7,796千円	12,000千円	△ 4,204千円

イ. 国内会議の実績

区 分	平成20年度	平成19年度	前 年 比
開 催 件 数	243件	228件	15件
参 加 人 員	216,552人	242,286人	△ 25,734人
使 用 料 収 入	833,711千円	840,247千円	△ 6,536千円
1 件あたり参加人員	891人	1,063人	△ 172人
1 件あたり使用料収入	3,431千円	3,685千円	△ 254千円

ウ. 会議等の内容からみた開催件数

区 分	国際会議	国内会議等	計	前 年 度
政治・経済・法律	7件	10件	17件	19件
科学・技術	10	6	16	27
医学	7	58	65	52
産 業	8	35	43	41
芸術・文化・教育	8	36	44	40
社 会	0	6	6	8
運 輸 ・ 観 光	0	2	2	0
社 交 ・ 親 善	0	20	20	32
宗 教	0	3	3	5
ス ポ ー ツ	0	3	3	3
そ の 他	1	64	65	42
計	41	243	284	269

エ. 月別にみた開催件数及び開催日数

月 別	開 催 件 数			開 催 日 数		
	国際会議	国内会議等	計	国際会議	国内会議等	計
20年1月	1件	13件	14件	2日	20日	22日
2月	0	20	20	0	32	32
3月	3	25	28	5	38	43
4月	5	23	28	17	34	51
5月	5	11	16	14	17	31
6月	5	19	24	8	29	37
7月	2	32	34	4	38	42
8月	0	14	14	0	24	24
9月	4	17	21	10	29	39
10月	5	25	30	17	40	57
11月	9	24	33	21	34	55
12月	2	20	22	7	27	34
計	41	243	284	105	362	467
前年度	43	228	271	136	323	459

オ. 主な会場の稼働日数

会 場 名	国際会議	国内会議等	計	前 年 度
大 会 議 場	30日	102日	132日	142日
会 議 場 A	28	89	117	141
会 議 場 B - 1	24	70	94	142
会 議 場 B - 2	28	76	104	126
会 議 場 C - 1	33	80	113	112
会 議 場 C - 2	47	70	117	114
会 議 場 D	43	98	141	165
イ ベ ン ト ホ ー ル	12	100	112	138
ア ネ ッ ク ス ホ ー ル	24	131	155	160
計	269	816	1,085	1,240

カ. イベントホールの稼働実績

内 容	国際会議	国内会議等	計	前 年 度
開 催 件 数	4件	41件	45件	47件
うち 単 独 使 用	0	8	8	11
本館との併用使用	4	33	37	36
延 使 用 日 数	12日	100日	112日	138日

(いずれも前掲資料オの内書)

キ. ロッジの稼働実績

延 客 室 数	利 用 客 室 数	客 室 稼 働 率
10,230室 (30室×341日)	3,267室	32%
前年度 10,680室 (30室×356日)	4,398室	41%

(ロッジの運営は株式会社国立京都国際会館食堂へ委託)

なお、本年度に開催された国際会議及び平成21年度に開催の申し込みを受けている国際会議は次のとおりであります。

(1) 平成20年度に開催された国際会議

会 議 名	開 催 期 間	参加国数	参加人数
APOトップマネジメントフォーラム	20. 3. 3～ 3. 5	18	46
京都国際ワークショップ「生命倫理基本法」	3.23	6	60
京都国際デザイン会議クムルス2008	3.28	13	600
第25回バラニー学会（国際めまい平衡医学会）	3.31～ 4. 3	41	630
28th PAA Meeting in Kyoto	4. 8～ 4.11	7	45
国際競争ネットワーク 第7回年次総会	4.14～ 4.16	65	500
ICT と気候変動に関する ITU 京都シンポジウム	4.15～ 4.16	31	200
国際シンポジウム「iPS細胞研究が切り拓く未来」	5.11～ 5.12	8	1,700
第5回国際アトピー性皮膚学会	5.11～ 5.13	25	200
第5回国際研究皮膚科学会議	5.14～ 5.17	35	1,994
国際金属労連（IMF）財政委員会／ 国際金属労連（IMF）執行委員会	5.28～ 5.31	26	90
第11回 ASEAN+ 3 局長級会合	5.30～ 5.31	14	60
オーストラリア留学フェア2008	6. 7	2	900
G 8 京都外相会合における国際メディアセンター 及び共同記者会見	6.26～ 6.27	9	300
社会保険労務士制度創設40周年記念国際シンポジウム	6.30	5	2,000
マレーシアデイ2008	7.19	2	300

会 議 名	開 催 期 間	参加国数	参加人数
第1回プロセス化学国際シンポジウム	7.28～ 7.30	12	900
第9回国際マンガサミット京都大会	9. 6～ 9. 8	21	30,000
第20回国際反応工学シンポジウム	9. 7～ 9.10	37	350
CULTURAMA	10. 2～10. 7	10	400
第5回科学技術と人類の未来に関する国際フォーラム (STSフォーラム) 第5回年次会合	10. 5～10. 7	70	700
第7回ナノインプリント・ナノプリント技術国際会議	10.14～10.15	12	300
第29回 AIVC Conference	10.14～10.16	20	200
源氏物語千年紀記念式典	11. 1	20	3,000
京都国立博物館2008年国際シンポジウム	11. 8	6	500
第24回京都賞受賞式・記念講演会・記念ワークショップ	11.10～11.12	11	3,920
世界加速器会議 国際組織委員会	11.13～11.14	5	30
第8回溶接学会国際シンポジウム	11.15～11.18	22	722
骨と仮骨の生体物理刺激シンポジウム	11.26～11.28	10	50
KIF 2008国際シンポジウム (持続可能性と「もったいない」の精神)	12.14～12.16	7	125
その他11件			1,192
計41件			52,014

(2) 平成21年度に開催の申し込みを受けている国際会議（平成20年12月31日現在）

会 議 名	開 催 期 間	参加人数
APP/BATF/HVAC WG	3.30～ 4. 2	30
エレクトロニクス実装関連国際会議	4.14～ 4.16	400
京都乳癌コンセンサス会議2009国際会議	4.16～ 4.18	600
国際 HL7 相互運用性会議2009	5. 7～ 5. 9	150
HL7 Working Group Meeting	5.10～ 5.15	350
第17回アジア太平洋心臓病学会	5.20～ 5.23	3,000
地盤災害の減災のための予測及びシミュレーション法に関する国際シンポジウム	5.25～ 5.27	150
International Engineering Meetings 2009 Kyoto	6.15～ 6.19	150
ICORR 2009	6.23～ 6.26	350
2009年環境電磁工学国際シンポジウム	7.20～ 7.24	800
第36回国際生理学会世界大会（IUPS 2009）	7.27～ 8. 1	3,000
第4回世界トライボロジー会議	9. 6～ 9.11	1,200
第58回 CIDESCO 世界会議	9.12～ 9.14	2,000
ASCB-JSCB-RIKEN COB Meeting	9.21～ 9.23	200
第12回コンピュータビジョン国際会議	9.29～10. 2	1,000
科学技術と人類の未来に関する国際フォーラム （STSフォーラム）第6回年次会合	10. 4～10. 6	700
第10回アジア太平洋環境職業皮膚科シンポジウム	11. 6～11. 8	400
第25回京都賞授賞式・記念講演会・記念ワークショップ	11.10～11.12	3,000
第19回日本臨床精神神経薬理学会・第39回日本神経精神薬理学会 合同年会・第1回アジア臨床精神薬理学会	11.13～11.15	1,800
日本箱庭療法学会第23回大会	11.14	700
第50回電池討論会	11.30～12. 2	1,500
国際公共放送会議（PBI）2009	12. 7～12. 8	250
高速炉システム国際会議	12. 7～12.10	400
その他 6 件		
計 29 件		

2. 駐車場の使用状況

区 分	平成20年度		平成19年度		台数の前年対比	
	台 数	金 額	台 数	金 額	増(△)減	比 率
バ ス	1,432 ^台	2,689 ^{千円}	1,675 ^台	3,123 ^{千円}	△243 ^台	85 [%]
一 般 車	61,491	45,885	71,625	55,450	△10,134	86
二 輪 車	9,365	2,178	9,963	2,335	△598	94
貸 切 料		4,688		4,354		
合 計		55,440		65,262		

二 自主企画事業

1. 宝松庵茶会

恒例の市民参加によるお茶会を、春と秋、茶室「宝松庵」にて、裏千家今日庵をはじめ、関係各位のご協力のもとに開催しました。

春の茶会 平成20年4月6日(日)

秋の茶会 平成20年12月7日(日)

2. 乾杯の夕べ

「乾杯の夕べ」を例年どおり当会館庭園にて平成20年7月25日(金)と26日(土)の両日に開催しました。

(株式会社国立京都国際会館食堂が主催)

三 理事会及び役員事項

1. 理事会

会議の区分	開催の日時場所	会議の目的事項
第 86 回 理 事 会	平成20年3月13日 午前11時～12時 会館 C-1 会議室	第 1 号議案 平成19年度事業報告書、収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表、当期収支差額処分計算書、剰余金計算書（案）及び財産目録認定の件。 本件は原案のとおり認定されました。 第 2 号議案 常任理事選任の件 門川大作理事が常任理事に選任されました。
第 34 回 常任理事会	平成20年12月4日 午前11時 ～11時5分 会館510会議室	第 1 号議案 館長の辞任について承諾を求める件 中村順一館長の辞任が承諾されました。 第 2 号議案 館長の任命について承諾を求める件 天江喜七郎氏を館長に任命することにつき承諾されました。
第 87 回 理 事 会	平成20年12月4日 午前11時10分 ～12時15分 会館510会議室	第 1 号議案 平成21年度事業計画案 本件は原案のとおり認定されました。 第 2 号議案 平成21年度収支予算案 本件は原案のとおり認定されました。 第 3 号議案 常任理事互選の件 内海貴夫、中村順一常任理事の辞任と、富喜久夫理事、天江喜七郎理事の常任理事選任が承認されました。 第 4 号議案 評議員選任の件 中村順一氏と國枝克一郎氏が評議員に選任されました。 第 5 号議案 顧問及び参与推薦の件 荒巻禎一氏、中村順一氏、榎本頼兼氏を顧問に、井上伸氏、伊吹邦彦氏、森脇史郎氏、山中英治氏を参与に推薦することが決定されました。 第 6 号議案 公益法人制度見直しについて 公益目的事業引当金、理事定数の削減について承認されました。

2. 書面による表決

文書番号	表 決 事 項	表決年月日
財京国総第57号 平成20年10月20日	第 1 号議案 公益目的事業引当金設置の件 第 2 号議案 公益目的事業引当金管理運用規定の件	平成20年11月12日

3. 役員の変動

役員氏名	異動年月日	登記年月日
理事 中村 芳夫	平成20年1月1日就任	平成20年1月7日
理事 太田 房江	平成20年3月6日辞任	平成20年3月21日
理事 榎本 頼兼	平成20年3月6日辞任	平成20年3月21日
理事 門川 大作	平成20年3月7日就任	平成20年3月21日
理事 橋下 徹	平成20年3月7日就任	平成20年3月21日
理事 平松 邦夫	平成20年3月7日就任	平成20年3月21日

4. 役員氏名

役職名	氏名	役職名	氏名
理事長	川 勝 堅 二	理事	後 藤 高 志
副理事長	稲 盛 和 夫	理事	小 林 公 平
副理事長	小 林 庄 一 郎	理事	小 桜 井 正 光
副理事長	中 村 芳 夫	理事	佐 藤 藤 茂 雄
常任理事	内 海 貴 夫	理事	下 妻 博 室
常任理事	門 川 大 作	理事	千 玄 宗 左
常任理事	立 石 義 雄	理事	千 井 宗 昭 二
常任理事	中 村 順 明 一 雄	理事	辻 堤 井 清 吉
常任理事	野 村 純 一 二	理事	堤 仁 坂 下 伸
常任理事	村 田 啓 正 吾	理事	橋 下 松 原 夫
常任理事	山 井 元 丈 永	理事	平 藤 原 邦 昭
理事	家 池 坊 專 隆 一	理事	藤 藤 原 菊 雅 男
理事	池 田 橋 三 敏 洋	理事	掘 堀 場 田 正 夫
理事	石 井 橋 戸 三 敏 猛	理事	増 松 下 越 浩 治
理事	梅 原 池 和 敬 夫	理事	水 目 片 田 立 信
理事	尾 大 倉 敬 一 泰	理事	目 矢 山 崎 正 弘 郎
理事	大 大 槻 橋 建 一 子	理事	山 吉 川 木 新 一 郎
理事	大 嘉 田 由 一 郎	理事	吉 領 柏 原 康 夫
理事	金 澤 川 清	監事	森 原 川 敏 雄
理事	黒 川	監事	森 原 川 敏 雄

理事長1名 副理事長3名 常任理事7名 理事37名 監事2名 計50名 (平成20年12月末日現在)

5. 顧問及び参与

役職名	氏名	役職名	氏名
顧問	荒卷 禎一	参与	伊吹 邦彦
顧問	上田 稔	参与	森脇 史郎
参与	井上 伸	参与	山中 英治

顧問2名 参与4名 計6名

(平成20年12月末日現在)

四 評議員会及び評議員事項

1. 評議員会

会議の区分	開催の日時場所	会議の目的事項
第13回 評議員会	平成20年3月6日 午前11時～ 12時40分 会館C-1会議室	第1号議案 平成19年度事業報告及び収支決算報告の件 本件は原案のとおり認定されました。 第2号議案 理事辞任承認の件 太田房江理事と榎本頼兼理事の辞任が承認されました。 第3号議案 理事選任の件 門川大作氏、橋下徹氏、平松邦夫氏の理事就任が承認されました。
第14回 評議員会	平成20年11月27日 午前11時～ 12時45分 会館510会議室	第1号議案 平成21年度事業計画案 本件は原案のとおり認定されました。 第2号議案 平成21年度収支予算案 本件は原案のとおり認定されました。 第3号議案 理事改選の件 内海貴夫理事、中村順一理事、尾池和夫理事の辞任と、 富喜久夫氏、天江喜七郎氏、松本紘氏の理事就任が承認 されました。 第4号議案 顧問及び参与推薦の件 荒卷禎一氏、中村順一氏、榎本頼兼氏を顧問に、井上伸 氏、伊吹邦彦氏、森脇史郎氏、山中英治氏を参与に推薦 することが決定されました。 第5号議案 公益法人制度見直しについて 公益目的事業引当金と理事定数の削減について承認され ました。

2. 書面による表決

文書番号	表 決 事 項	表決年月日
財京国総第65号 平成20年10月20日	第1号議案 公益目的事業引当金設置の件 第2号議案 公益目的事業引当金管理運用規定の件	平成20年11月5日

3. 評議員の異動

評 議 員 氏 名	異 動 年 月 日
評 議 員 内 海 善 雄	平成20年1月1日就任
評 議 員 齊 藤 行 巨	平成20年1月1日就任
評 議 員 中 尾 一 和	平成20年1月1日就任
評 議 員 山 田 清	平成20年1月1日就任

4. 評議員氏名

役 職 名	氏 名	役 職 名	氏 名
議 長	明 石 康	評 議 員	沖 村 憲 樹
副 議 長	中 平 幸 典	評 議 員	小 野 元 之
副 議 長	芳 賀 徹	評 議 員	片 倉 も と こ
評 議 員	安 藤 昌 弘	評 議 員	木 下 博 夫
評 議 員	池 坊 由 紀	評 議 員	久 米 邦 貞
評 議 員	市 田 ひ ろ み	評 議 員	齊 藤 修 巨
評 議 員	井 端 泰 彦	評 議 員	坂 本 行 吉
評 議 員	上 村 多 恵 子	評 議 員	相 良 吉 憲
評 議 員	宇 治 敏 彦	評 議 員	平 野 次 英
評 議 員	内 海 善 一	評 議 員	古 川 英 光
評 議 員	篠 原 真 志	評 議 員	堀 内 場 正 厚
評 議 員	須 藤 壽 一	評 議 員	堀 本 間 重 和
評 議 員	高 木 盛 治	評 議 員	松 間 重 宮 忠 敏
評 議 員	武 居 範 久	評 議 員	森 間 重 宮 忠 敏
評 議 員	土 居 一 和	評 議 員	森 口 田 信 孝
評 議 員	中 尾 輝 政	評 議 員	山 田 本 信 孝
評 議 員	中 村 桂 子	評 議 員	山 田 本 信 孝
評 議 員	端 井 信 行	評 議 員	山 田 本 信 孝
評 議 員	平 井 誠 一	評 議 員	山 田 本 信 孝

議長1名 副議長2名 評議員37名 計40名

(平成20年12月末日現在)

五 庶務事項

1. 施設の管理再委託契約

当財団法人と京都市が締結している管理再委託契約の施設の内容は次のとおりであります。

(注：国と京都市との間で国有財産管理委託契約を締結)

区 分	種 目	名 称	数 量	価 格
土 地	宅 地		156,096.77㎡	5,428,982,551円
立木竹	樹 木		799 本	26,327,503
建 物	事務所建	会 議 場	$\frac{14,693.54}{37,786.48}$ ㎡	2,885,687,453
	事務所建	展 示 場	$\frac{4,860.69}{7,976.58}$	596,311,736
	雑屋建	車 寄	$\frac{126.11}{126.11}$	9,813,200
	雑屋建	ポンプ室	$\frac{189.93}{189.93}$	16,658,006
	雑屋建	渡 廊 下 (連絡歩廊)	$\frac{449.76}{449.76}$	60,061,412
	雑屋建	渡 廊 下 (連絡歩道橋)	$\frac{188.24}{188.24}$	68,125,239
	雑屋建	渡 廊 下 (既設地下鉄出入口上屋)	$\frac{9.33}{9.33}$	5,421,937
	車庫建	ごみ容器置場	$\frac{16.43}{16.43}$	511,484
		計		$\frac{20,534.03}{46,742.86}$
工 作 物			一 式	7,200,513,689
合 計				16,298,414,210

2. 変更登記

第84回理事会で認定された平成19年12月末日現在の財産目録にもとづき、平成20年3月21日資産総額の変更登記をしました。

資産総額（純財産） 1,951,506,342円（前年 1,783,443,469円）

3. 外貨両替

20年度中の外国通貨及び旅行小切手の買取は143件、米ドル換算にて25,901ドルの両替実績でありました。（前年497件 135,169ドル）

4. 会議準備資金融資制度

本年度中の新規の資金融資はありませんでした。

5. 休館日

本年度中に次の日を休館しました。

平成20年1月1日（火）～4日（金） 4日間 年始休館

平成20年12月27日（土）～31日（水） 5日間 年末休館

6. 事務局に在職する職員は次のとおりであります。

区 分	男	女	合 計	前 年 度
館長（常任理事）	1	0	1	1
事務局長（理事）	1	0	1	1
事務副局長	1	0	1	1
総務部	6	1	7	8
施設部	12	1	13	13
営業部	8	9	17	16
調査役	1	0	1	1
業務支援室	1	0	1	0
合 計	31	11	42	41

（平成20年12月末日現在）

平成20年度 決算書

(1) 収支計算書

平成20年1月1日から平成20年12月31日まで

(単位：円)

支 出 の 部		収 入 の 部	
人 件 費	388,186,729	使 用 料	1,255,352,199
職 員 給 料	232,328,118	使 用 料 収 入	1,153,363,208
期 末 手 当	68,960,742	飲 食 宿 泊 施 設 使 用 料 収 入	43,548,983
退 職 金	35,674,000	駐 車 場 収 入	55,440,008
通 勤 手 当	7,245,467	売 店 使 用 料 収 入	3,000,000
法 定 福 利 費	41,769,109	利 息 収 入	2,116,416
福 利 厚 生 費	2,209,293	基 本 財 産 利 子	1,301,775
委 託 費	279,551,798	受 取 利 息	814,641
会 場 設 営 費	47,608,113	そ の 他 収 入	535,792
駐 車 場 費	24,250,311	地 下 鉄 連 絡 通 路 収 入	5,543,220
館 内 案 内 費	35,092,473	自 主 企 画 事 業 収 入	6,015,239
警 備 費	33,660,000		
清 掃 費	54,285,664		
電 気 機 械 保 守 費	57,991,745		
雑 給	26,663,492		
運 営 費	410,801,535		
電 力 使 用 料	35,105,232		
ガ ス 使 用 料	62,547,191		
水 道 使 用 料	4,468,951		
広 報 宣 伝 費	1,227,986		
通 信 運 搬 費	7,384,349		
運 営 用 消 耗 品 費	13,528,391		
会 場 運 営 諸 費	286,539,435		
管 理 費	175,336,412		
修 繕 保 守 費	20,373,367		
庭 園 保 守 費	30,078,620		
交 際 接 待 費	2,414,069		
旅 費	8,762,922		
事 務 印 刷 費	10,455,057		
保 険 料	1,913,862		
会 議 行 事 費	1,949,444		
諸 会 費 分 担 金	5,503,121		
諸 費	2,523,150		
減 価 償 却 費	90,374,917		
固 定 資 産 除 却 費	987,883		
地 下 鉄 連 絡 通 路 維 持 費	6,852,638		
自 主 企 画 事 業 費	5,416,645		
当 期 剰 余 金	3,417,109		
合 計	1,269,562,866	合 計	1,269,562,866

(2) 貸借対照表

平成20年12月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	8,934,010	7,484,957	1,449,053
普通預金	632,738,061	459,434,842	173,303,219
未収金	299,722,079	178,963,684	120,758,395
販売物品	197,428	661,071	△463,643
前払費用	1,193,102	0	1,193,102
仮払消費税	46,223,156	56,406,345	△10,183,189
流動資産合計	989,007,836	702,950,899	286,056,937
2. 固定資産			
有形固定資産(通常運用)			
建物附属設備	209,989,673	214,235,293	△4,245,620
車両運搬具	4,872,224	4,872,224	0
工具器具備品	283,660,728	297,156,798	△13,496,070
立木	1,000,000	1,000,000	0
茶室建物	74,243,303	74,243,303	0
茶室附属設備	4,400,000	4,400,000	0
茶室備品	3,017,500	3,017,500	0
(計)	581,183,428	598,925,118	△17,741,690
減価償却累計額	△492,064,959	△490,456,797	△1,608,162
計	89,118,469	108,468,321	△19,349,852
有形固定資産(第一次運用)			
工具器具備品	75,442,280	76,141,580	△699,300
減価償却累計額	△66,641,485	△66,611,987	△29,498
計	8,800,795	9,529,593	△728,798
有形固定資産(第二次運用)			
工具器具備品	22,607,330	23,057,330	△450,000
減価償却累計額	△21,702,710	△21,904,465	201,755
計	904,620	1,152,865	△248,245
有形固定資産(第三次運用)			
工具器具備品	62,701,740	62,701,740	0
減価償却累計額	△60,193,214	△59,566,656	△626,558
計	2,508,526	3,135,084	△626,558
有形固定資産(第四次運用)			
工具器具備品	112,637,490	112,637,490	0
減価償却累計額	△106,600,821	△104,759,104	△1,841,717
計	6,036,669	7,878,386	△1,841,717
有形固定資産(随時運用)			
工具器具備品	554,312,537	480,929,492	73,383,045
減価償却累計額	△265,193,178	△199,735,482	△65,457,696
計	289,119,359	281,194,010	7,925,349
無形固定資産			
会議ソフトウェア	11,600,000	11,600,000	0
通信加入権	737,200	737,200	0
(計)	12,337,200	12,337,200	0
減価償却累計額	△11,600,000	△11,600,000	0
計	737,200	737,200	0
投資等			
投資有価証券	129,846,000	79,850,000	49,996,000
貸付信託	19,000,000	26,000,000	△7,000,000
定期預金	218,500,000	198,500,000	20,000,000
普通預金	912,948,335	1,226,844,534	△313,896,199
計	1,280,294,335	1,531,194,534	△250,900,199
固定資産合計	1,677,519,973	1,943,289,993	△265,770,020
資産合計	2,666,527,809	2,646,240,892	20,286,917

平成20年12月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払費用	68,251,091	75,879,837	△7,628,746
前受金	56,355,138	76,441,230	△20,086,092
一時預り金	23,526,965	38,274,360	△14,747,395
職員預り金	9,462,079	8,560,557	901,522
仮受消費税	50,337,441	61,333,666	△10,996,225
保証預り金	60,600,000	59,600,000	1,000,000
未払法人税等	7,008,600	22,037,900	△15,029,300
流動負債合計	275,541,314	342,127,550	△66,586,236
2. 固定負債			
退職給付引当金	308,906,000	301,741,000	7,165,000
特別修繕引当金	50,866,000	50,866,000	0
公益目的事業引当金	950,000,000	0	950,000,000
固定負債合計	1,309,772,000	352,607,000	957,165,000
負債合計	1,585,313,314	694,734,550	890,578,764
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
基本財産	375,950,000	375,950,000	0
指定正味財産合計	375,950,000	375,950,000	0
2. 一般正味財産			
運用財産	203,006,876	1,076,715,832	△873,708,956
剰余金	502,257,619	498,840,510	3,417,109
(うち当期剰余金)	(3,417,109)	(31,086,173)	(△27,669,064)
一般正味財産合計	705,264,495	1,575,556,342	△870,291,847
正味財産合計	1,081,214,495	1,951,506,342	△870,291,847
負債及び正味財産合計	2,666,527,809	2,646,240,892	20,286,917

(3) 正味財産増減計算書

平成20年1月1日から平成20年12月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 使用料	1,255,352,199	1,469,842,344	△214,490,145
会場使用料	1,153,363,208	1,356,236,443	△202,873,235
飲食施設使用料	43,548,983	45,343,585	△1,794,602
駐車場使用料	55,440,008	65,262,316	△9,822,308
売店使用料	3,000,000	3,000,000	0
② 地下鉄連絡通路料	5,543,220	7,726,670	△2,183,450
③ 自主企画事業料	6,015,239	5,881,905	133,334
④ 基本財産等運用益	2,116,416	1,548,164	568,252
⑤ その他収入	535,792	879,398	△343,606
経常収益計	1,269,562,866	1,485,878,481	△216,315,615
(2) 経常費用			
① 事業費	1,139,224,059	1,297,120,511	△157,896,452
人件費	273,684,914	295,179,138	△21,494,224
委託費	279,551,798	283,367,428	△3,815,630
運営費	409,043,535	511,041,673	△101,998,138
維持管理費	164,674,529	195,500,195	△30,825,666
地下鉄連絡通路維持費	6,852,638	6,879,572	△26,934
自主企画事業費	5,416,645	5,152,505	264,140
② 管理費	125,933,815	139,302,475	△13,368,660
人件費	114,501,815	122,839,475	△8,337,660
光熱水費等	1,758,000	1,853,000	△95,000
事務管理費	9,674,000	14,610,000	△4,936,000
経常費用計	1,265,157,874	1,436,422,986	△171,265,112
当期経常増減額	4,404,992	49,455,495	△45,050,503
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
① 運用財産受入	76,291,044	136,976,700	△60,685,656
経常外収益計	76,291,044	136,976,700	△60,685,656
(2) 経常外費用			
① 固定資産除却損	987,883	3,369,322	△2,381,439
② 公益目的事業引当金設定	950,000,000	0	950,000,000
経常外費用計	950,987,883	3,369,322	947,618,561
当期経常外増減額	△874,696,839	133,607,378	△1,008,304,217
税引前当期一般正味財産増減額	△870,291,847	183,062,873	△1,053,354,720
法人税等	0	15,000,000	△15,000,000
当期一般正味財産増減額	△870,291,847	168,062,873	△1,038,354,720
一般正味財産期首残高	1,575,556,342	1,407,493,469	168,062,873
一般正味財産期末残高	705,264,495	1,575,556,342	△870,291,847
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	375,950,000	375,950,000	0
規定正味財産期末残高	375,950,000	375,950,000	0
III 正味財産期末残高	1,081,214,495	1,951,506,342	△870,291,847

(4) キャッシュ・フロー計算書

平成20年1月1日から平成20年12月31日まで

(単位：円)

科 目	金 額
I 事業活動によるキャッシュ・フロー	
1. 当期一般正味財産増減額	△ 870,291,847
2. キャッシュ・フローへの調整額	
① 減価償却費	90,374,917
② 退職給付引当金の増減額	7,165,000
③ 公的目的事業引当金の増減額	950,000,000
④ 未収金の増減額	△ 120,758,395
⑤ 未払金の増減額	△ 7,628,746
⑥ その他	125,891,343
小 計	1,045,044,119
3. 指定正味財産増加収入	0
事業活動によるキャッシュ・フロー	174,752,272
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
1. 投資活動収入	0
2. 投資活動支出	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	0
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
1. 財務活動収入	0
2. 財務活動支出	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	0
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	0
V 現金及び現金同等物の増減額	174,752,272
VI 現金及び現金同等物の期首残高	466,919,799
VII 現金及び現金同等物の期末残高	641,672,071

〈財務諸表に対する注記〉

重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

定額法によっている。

(2) 消費税の会計処理

税抜方式によっている。

(5) 財 産 目 録

平成20年12月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	8,934,010		
普通預金 京都銀行三宅八幡支店	632,738,061		
未収金 第19回全国介護老人保健施設 他	299,722,079		
販売物品 たばこ	197,428		
前払費用 労働保険料	1,193,102		
仮払消費税	46,223,156		
流動資産合計		989,007,836	
2. 固定資産			
有形固定資産 (通常運用)			
建物付属設備	209,989,673		
車両運搬具	4,872,224		
工具器具備品	283,660,728		
立木	1,000,000		
茶室建物	74,243,303		
茶室付属設備	4,400,000		
茶室備品	3,017,500		
(計)	581,183,428		
減価償却累計額	△492,064,959		
計	89,118,469		
有形固定資産 (第一次運用)			
工具器具備品	75,442,280		
減価償却累計額	△66,641,485		
計	8,800,795		
有形固定資産 (第二次運用)			
工具器具備品	22,607,330		
減価償却累計額	△21,702,710		
計	904,620		
有形固定資産 (第三次運用)			
工具器具備品	62,701,740		
減価償却累計額	△60,193,214		
計	2,508,526		
有形固定資産 (第四次運用)			
工具器具備品	112,637,490		
減価償却累計額	△106,600,821		
計	6,036,669		
有形固定資産 (随時運用)			
工具器具備品	554,312,537		
減価償却累計額	△265,193,178		
計	289,119,359		
無形固定資産			
会議ソフトウェア	11,600,000		
通信加入権	737,200		
(計)	12,337,200		
減価償却累計額	△11,600,000		
計	737,200		
投資等			
投資有価証券 第239回利付国債 他	129,846,000		
貸付信託 住友信託A号46回 他	19,000,000		
定期預金 京都銀行三宅八幡支店 他	218,500,000		
普通預金 三菱東京UFJ銀行京都支店 他	912,948,335		
計	1,280,294,335		
固定資産合計		1,677,519,973	
資産合計			2,666,527,809

平成20年12月31日現在

(単位：円)

科 目	金	額
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払費用 テクニカルアート12月分 他	68,251,091	
前受金 第34回ニュータウンカンファレンス 他	56,355,138	
一時預り金 (株)国立京都国際会館食堂	23,526,965	
職員預り金 12月分源泉所得税 他	9,462,079	
仮受消費税	50,337,441	
保証預り金 (株)フジヤ 他	60,600,000	
未払法人税等	7,008,600	
流動負債合計		275,541,314
2. 固定負債		
退職給付引当金	308,906,000	
特別修繕引当金	50,866,000	
公益目的事業引当金	950,000,000	
固定負債合計		1,309,772,000
負債合計		1,585,313,314
正味財産		1,081,214,495

(6) 当期剩余金処分計算書

(単位：円)

I	当期剩余金	3,417,109
II	当期処分額	0
III	当期末処分剩余金	3,417,109

(7) 剰余金計算書

(単位：円)

I	前期末処分剩余金	4,988,840,510
II	当期末処分剩余金	3,417,109
III	次期繰越剩余金	5,022,257,619